

## 「岩手県地域リハビリテーション連携指針（改定版）」に係る 取組状況等について

### 岩手県地域リハビリテーション連携指針

- 保健・医療・福祉等の関係機関が連携して、現状と課題に関する知識を共有し、地域リハビリテーションを推進するための行動指針
  - いわて県民計画及び各種計画と整合性を図りながら地域リハビリテーションの推進を図るものとして平成 13 年に策定しました。（平成 20 年/令和 4 年改定）
- ※ データの出典を記載しているもの以外は長寿社会課調べ。

# 基本方針に係る取組状況について

## 第1 連携の促進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域包括ケアシステムの構築を推進するため、地域リハビリテーション支援体制を整備し、関係機関・職種の連携を促進します。

### 【令和5年度までの実績】

#### ① 岩手県リハビリテーション協議会の開催

地域におけるリハビリテーションの適切かつ円滑な提供に関する必要な事項について調査審議することを目的として開催し、地域包括ケアシステムの深化・推進に資するリハビリテーションのあり方及び地域リハビリテーション連携指針の検討を行っている。

令和5年12月20日（水）13時30分～15時30分（オンライン開催）

議題：「地域リハビリテーション連携指針（改訂版）」に係る取組状況等について  
いわていきいきプラン（2024～2026）素案について

#### ② 各圏域における連絡協議会（広域支援センターが主催）の開催

全広域支援センターにおいて連絡協議会を開催した。内容としては、広域支援センター事業の令和4年度取組実績及び令和5年度計画等について協議しているほか、関係機関の地域リハビリテーションに係る取組状況の共有を図っている。

構成委員：医師会、歯科医師会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、介護支援専門員協会、協力施設、管内医療機関、介護保険施設、社会福祉協議会、地域包括在宅介護支援センター、市町村・地域包括支援センター等

＜各広域支援センターにおける連絡協議会の開催実績（令和5年度）＞（表1）

圏域	開催日	開催方法
盛岡北部	3月11日	WEB
盛岡南部	2月29日	WEB
岩手中部	9月7日	WEB
胆江	7月、3月	書面開催
両磐	9月1日	WEB
気仙	2月28日	対面
釜石	8月	書面開催
宮古	6月30日	WEB
久慈	7月13日	対面
二戸	2月15日	WEB

③ 通いの場や地域ケア会議等への専門職の派遣（調整）回数・参加状況

- ・ 通いの場及び地域ケア会議等への専門職派遣による市町村支援の取組を促進している。

＜市町村からの専門職の派遣依頼の実施状況（令和5年度）＞（表2）

職 種	個人宅	事業所	住民主体の 通いの場	地域ケア 会 議	そ の 他	計
医 師	0回	0回	2回	30回	18回	50回
歯 科 医 師	0回	0回	1回	8回	4回	13回
薬 剤 師	0回	0回	2回	230回	0回	232回
保 健 師	0回	0回	200回	117回	2回	319回
看 護 師	0回	0回	20回	28回	1回	49回
理学療法士	17回	2回	253回	107回	139回	518回
作業療法士	1回	1回	98回	86回	61回	247回
言語聴覚士	0回	0回	0回	15回	6回	21回
管理栄養士・ 栄 養 士	0回	0回	13回	77回	1回	91回
歯 科 衛 生 士	0回	0回	116回	56回	10回	182回
そ の 他	15回	0回	1,755回	87回	261回	2,118回
計	33回	3回	2,460回	841回	503回	3,840回

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 3ページに掲載。

＜市町村からの通いの場への派遣依頼回数の推移＞（表3）

職 種	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
理学療法士	376回	204回	332回	230回	253回
作業療法士	461回	133回	126回	75回	98回
言語聴覚士	3回	0回	0回	0回	0回

＜市町村からの地域ケア会議への派遣依頼回数の推移＞（表4）

職 種	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
理学療法士	49回	95回	75回	103回	107回
作業療法士	27回	50回	70回	86回	86回
言語聴覚士	8回	13回	11回	16回	15回

出典：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）実施状況に関する調査」

※ 令和5年度について速報値。確定値は厚生労働省において令和7年3月頃公表予定。

※ 介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）のうち、地域リハビリテーション活動支援事業を実施している市町村の集計のため、年度によっては全33市町村ではない場合がある。

地域リハビリテーション活動支援事業実施市町村数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施市町村数	21市町村	33市町村	30市町村	26市町村	26市町村

＜地域ケア個別会議への多職種の参加状況（参加市町村数）＞（表5）

職 種		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医師		12 市町村	10 市町村	12 市町村	12 市町村	16 市町村
歯科医師・歯科衛生士		10 市町村	14 市町村	14 市町村	9 市町村	11 市町村
薬剤師		16 市町村	18 市町村	17 市町村	16 市町村	17 市町村
保健所等の保健師等		8 市町村	7 市町村	8 市町村	10 市町村	8 市町村
病院・ 診療所 職員	看護師等	27 市町村	22 市町村	25 市町村	20 市町村	22 市町村
	医療ソーシャルワーカー				14 市町村	15 市町村
	理学療法士	14 市町村	18 市町村	15 市町村	11 市町村	8 市町村
	作業療法士				9 市町村	9 市町村
	言語聴覚士				2 市町村	2 市町村
介護保険施設職員		21 市町村	19 市町村	22 市町村	22 市町村	22 市町村
管理栄養士・栄養士		9 市町村	13 市町村	12 市町村	12 市町村	12 市町村

＜地域課題を検討する地域ケア会議への多職種の参加状況（参加市町村数）＞（表6）

職 種		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医師		8 市町村	11 市町村	9 市町村	10 市町村	11 市町村
歯科医師・歯科衛生士		6 市町村	9 市町村	10 市町村	6 市町村	7 市町村
薬剤師		9 市町村	8 市町村	10 市町村	10 市町村	9 市町村
保健所等の保健師等		2 市町村	3 市町村	2 市町村	2 市町村	1 市町村
病院・ 診療所 職員	看護師	18 市町村	17 市町村	13 市町村	16 市町村	14 市町村
	医療ソーシャルワーカー				8 市町村	9 市町村
	理学療法士	7 市町村	8 市町村	9 市町村	4 市町村	3 市町村
	作業療法士				4 市町村	4 市町村
	言語聴覚士				0 市町村	0 市町村
介護保険施設職員		19 市町村	18 市町村	15 市町村	17 市町村	19 市町村
管理栄養士・栄養士		2 市町村	2 市町村	4 市町村	4 市町村	6 市町村

出典：厚生労働省「地域包括支援センター運営状況調査」（抜粋）

※ 令和5年度については速報値。確定値は厚生労働省において令和7年2月頃公表予定。

※ 各年度において、各職種の方が一度でも参加したことのある市町村を計上。

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 4ページに掲載。

④ 専門職の市町村支援体制の構築状況

県が策定した「自立支援型地域ケア会議に係るリハビリテーション専門職派遣調整ガイドライン」「自立支援型地域ケア会議に係る専門職派遣調整ガイドライン」（令和3年度～）における派遣可能者・候補者名簿に基づき、広域支援センターや職能団体等で派遣調整を行っている。

<リハビリテーション専門職（OT, PT, ST）派遣可能者名簿掲載数>（表7）

職 種	令和3年度	令和4年度	令和5年度
理学療法士	113人	151人	143人
作業療法士	129人	140人	128人
言語聴覚士	14人	17人	18人

<専門職（※1）派遣候補者名簿掲載数>（表8）

職 種	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歯科医師	69人	69人	69人
薬剤師	54人	56人	61人
看護師 ※2			
管理栄養士（栄養士）	33人	35人	35人
歯科衛生士	16人	18人	17人

※1 本ガイドラインにおいて専門職とは、歯科医師・薬剤師・看護師・管理栄養士（栄養士）・歯科衛生士をいう。

※2 岩手県看護協会においては、名簿の作成に代わり、協力可能な病院を掲載。

令和3年度：20施設、令和4年度：20施設、令和5年度：20施設

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 5ページに掲載。

【評価・課題と今後の取組】

- 岩手県リハビリテーション協議会において、本県の地域リハビリテーションの取組方針の決定を行っているほか、圏域の連絡協議会においては広域支援センターの事業計画等について検討し、関係機関で地域課題の解決に向けた検討を行っている。

今後も各圏域の実情に応じた地域リハビリテーションの支援体制の整備に向け、岩手県リハビリテーション協議会の開催と圏域の連絡協議会における助言等を行い、引き続き関係機関との連携の促進を図る。

- リハビリテーション専門職等と市町村が連携し、地域ケア会議や通いの場等への支援を行っているが、高齢者の自立支援・重度化防止の取組のための専門職による市町村支援を更に促進する必要がある。

「自立支援型地域ケア会議に係るリハビリテーション専門職派遣調整ガイドライン」及び「自立支援型地域ケア会議に係る専門職派遣調整ガイドライン」について、今後も候補者の所属機関に対し事業趣旨の理解と派遣候補者名簿登録への協力を県から依頼し、関係機関・職種との連携による市町村支援体制の整備により、更なる連携の強化を図る。

## 第2 人材の育成・確保の促進

県民や関係機関のニーズに対応し、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点から、適切なリハビリテーションが提供されるよう、地域リハビリテーション従事者が学び合える機会づくりと派遣調整体制を整備します。

### 【令和5年度までの実績】

#### ① 人口10万人あたりの専門職数（二次保健医療圏）

＜岩手県理学療法士会の会員数（人）（下段（）内は人口10万人対）＞（表9）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
盛岡	571 (122.3)	584 (125.8)	613 (133.2)	631 (138.2)	616 (136.3)
岩手 中部	128 (58.8)	139 (64.4)	136 (63.1)	143 (67.0)	139 (65.9)
胆江	68 (52.4)	75 (58.5)	74 (58.3)	77 (61.4)	80 (64.8)
両磐	68 (55.8)	69 (57.6)	72 (61.4)	71 (61.7)	66 (58.6)
気仙	24 (40.5)	24 (41.4)	27 (47.6)	26 (46.8)	27 (49.7)
釜石	37 (81.9)	38 (86.1)	35 (83.2)	37 (90.1)	38 (94.1)
宮古	50 (63.1)	55 (71.1)	54 (72.4)	49 (67.4)	38 (53.7)
久慈	27 (48.8)	25 (46.0)	26 (48.8)	25 (47.9)	27 (52.9)
二戸	17 (33.1)	19 (37.8)	21 (42.3)	20 (41.3)	19 (40.2)
計	990 (80.7)	1,028 (84.8)	1,058 (88.4)	1,079 (91.4)	1,050 (90.3)

調査協力：岩手県理学療法士会

<岩手県作業療法士会の会員数（人）（下段（）内は人口10万人対）>（表10）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
盛岡	398	382	389	381	401
	(85.2)	(82.3)	(84.5)	(83.4)	(88.7)
岩手 中部	102	95	98	99	112
	(46.9)	(44.0)	(45.5)	(46.4)	(53.1)
胆江	50	48	50	49	54
	(38.6)	(37.4)	(39.4)	(39.1)	(43.8)
両磐	40	39	41	41	36
	(32.8)	(32.6)	(35.0)	(35.6)	(31.9)
気仙	21	18	17	19	20
	(35.5)	(31.0)	(29.9)	(34.2)	(36.8)
釜石	19	16	15	15	14
	(42.1)	(36.3)	(35.7)	(36.5)	(34.7)
宮古	39	43	40	36	36
	(49.2)	(55.6)	(53.6)	(49.5)	(50.8)
久慈	27	28	22	23	22
	(48.8)	(51.6)	(41.3)	(44.1)	(43.1)
二戸	16	16	16	15	15
	(31.2)	(31.8)	(32.2)	(31.0)	(31.7)
計	712	685	688	678	710
	(58.1)	(56.5)	(57.5)	(57.4)	(61.0)

調査協力：岩手県作業療法士会

<岩手県言語聴覚士会の会員数（人）（下段（）内は人口10万人対）>（表11）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
盛岡	76 (16.3)	82 (17.7)	83 (18.0)	85 (18.6)	84 (18.6)
岩手 中部	22 (10.1)	21 (9.7)	21 (9.7)	23 (10.8)	19 (9.0)
胆江	9 (6.9)	10 (7.8)	10 (7.9)	9 (7.2)	9 (7.3)
両磐	10 (8.2)	9 (7.5)	7 (6.0)	6 (5.2)	5 (4.4)
気仙	4 (6.8)	4 (6.9)	4 (7.0)	5 (9.0)	5 (9.2)
釜石	5 (11.1)	5 (11.3)	4 (9.5)	3 (7.3)	4 (9.9)
宮古	6 (7.6)	6 (7.8)	5 (6.7)	5 (6.9)	7 (9.9)
久慈	2 (3.6)	1 (1.8)	1 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
二戸	4 (7.8)	4 (8.0)	5 (10.1)	5 (10.3)	4 (8.5)
計	138 (11.3)	142 (11.7)	140 (11.7)	141 (11.9)	137 (11.8)

調査協力：岩手県言語聴覚士会

② 市町村の介護予防事業等への専門職の派遣状況

県が策定した「自立支援型地域ケア会議に係るリハビリテーション専門職派遣調整ガイドライン」に基づき、広域支援センターにおいて自立支援型地域ケア会議への専門職派遣調整を実施している。

<ガイドラインに基づき市町村から依頼があった広域支援センター>（表12）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
盛岡北部		○			○	
盛岡南部	○	○	○	○		
岩手中部		○	○	○	○	○
胆江	○	○	○	○	○	○
両磐						
気仙						
釜石	○	○	○	○	○	○
宮古	○	○	○	○	○	○
久慈						
二戸						

### ③ 人材育成の実施状況

県では、全県域を対象とした地域リハビリテーションに係る研修を、(公財)いきいき岩手支援財団及び(公財)いわてリハビリテーションセンターに委託して実施している。

また、各圏域では、圏域の地域課題に対応した研修を保健所及び広域支援センターで実施している。

その他、岩手県理学療法士会、岩手県作業療法士会及び岩手県言語聴覚士会において、地域リハビリテーションに係る人材育成を独自に行っている。

#### <全県域を対象とした地域リハビリテーションに係る研修(令和5年度実績)>

##### ・いきいき岩手支援財団実施分(表13)

研修会名	目的	対象	内容	人数	開催日
介護予防に参画するリハビリテーション専門職育成研修	市町村が実施する介護予防事業への関与の手法や多職種との連携、リハ職の役割について理解を深める。	リハビリテーション専門職等	県の施策に関する行政説明に加え、専門職の役割についての講義や市町村からの事例紹介を実施。	22人	11/18
地域ケア会議に参画するリハビリテーション専門職育成研修	自立支援型地域ケア会議への関与の手法や、多職種との連携、リハ職の役割について理解を深める。	リハビリテーション専門職等	自立支援型地域ケア会議や多職種連携についての講義を実施。	49人	2/10
リハビリテーション専門職等連絡会	地域の関係者(行政、医療、介護、地域住民等)との円滑な連携や協働に資する情報共有や、スキルアップのための情報交換を行う。	リハビリテーション専門職・市町村職員・地域包括支援センター職員等	地域支援事業へ参画するためのリハ職の心構え等に係る情報提供や自立支援型地域ケア会議の取組事例の報告、グループワークを実施。	28人	3/16

・ いわてリハビリテーションセンター実施分（表 14）

研修会名	目的	対象	内容	人数	開催日
地域リハビリテーション関係職員研修会	多職種が協働した活動を展開するうえで必要な知識・技術の普及ため、「地域包括ケア・地域リハビリテーションのリハ理念」と基本的な介護について学ぶ。	保健医療福祉介護関係機関に勤務する職員	生活の自立に向けた高齢者のリハビリテーション～口腔ケア・栄養改善と生活場面の転倒予防の視点から～（全4回）	71人	9/11 10/3 10/10 11/21
保健・福祉等高齢者施設職員リハビリテーションケア技術講習会	リハビリテーションの基礎・生活活動への関わり・機能訓練の基礎等についての知識と技術を高め、地域におけるリハビリテーションの推進を図る。	高齢者施設職員等	リハビリテーションに関する講話、実技及び意見交換（2日間）	36人	11/6～ 11/7
呼吸リハビリテーション研修会	呼吸器の解剖や呼吸の生理について基礎的な知識を学ぶとともに、呼吸の評価方法について紹介し、地域の施設や在宅ケアで活用する。	高齢者施設・訪問看護事業所等の看護師等	呼吸の基礎知識・評価法・呼吸ケアの技術について	23人	9/21
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害リハビリテーション研修会（岩手災害リハビリテーション推進協議会（いわて JRAT）主催）</li> <li>・ 高次脳機能障がい者支援研修会（障がい保健福祉課委託事業）</li> </ul>				

<各圏域における地域リハビリテーションに係る研修（令和5年度実績）>

・ 広域支援センター実施分（表 15）

圏域	研修会名	対象者	開催日
盛岡 北部	自立支援型地域ケア会議研修会	リハビリテーション専門職、看護師、保健師等	7/26
	シルリハ体操3級指導者養成に関わるセラピスト・フォローアップ研修会	リハビリテーション専門職、看護師、保健師等	8/26
	認知症研修会	市町村、リハビリテーション関係職種等	9/8
盛岡 南部	地域リハビリテーション研修会（高齢者や障がい者の自動車運転についての理解）	介護保険事業所、相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所、障がい支援施設、行政職員等	2/21
岩手 中部	花巻市在宅生活を支える多職種が集う会（リハビリメニューの活用方法について）	リハビリテーション関連職員	8/30
	腰痛予防に係る職員研修	施設職員	8/22
胆江	摂食嚥下障害の勉強会	訪問看護ステーション看護師等	11/20
	機能訓練指導、介護方法の助言等	施設機能訓練担当者、介護スタッフ等	12/22、 12/25、 3/11
	YouTubeによる動画配信研修（ポジショニング、介護機器）	リハビリテーション専門職等	10/1～ 10/31
両磐	お口のセルフチェックとセルフトレーニングについて～食べにくいと感じ始めたら～	指定居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護（看護も含む）に所属する介護支援専門員	7/26
	脊髄損傷不全麻痺者に対する理学療法	リハビリテーション専門職等	11/8
気仙	関係職員研修（コグニサイズを知ろう）	地域リハビリテーション関係職員	10/13
釜石	高齢者の誤嚥性肺炎予防のための呼吸ケアと呼吸リハビリテーション	理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士等	11/27
宮古	循環器リハビリテーション	リハビリテーション専門職等	8/5
	転倒予防・誤嚥予防	施設職員	1/18
	地域づくり～専門職に出来る事を考えてみよう～	リハビリテーション専門職、医療・介護相談員、介護支援専門員等	1/28
久慈	施設での災害対策を考える	病院・施設・行政職の職員	1/31
	経口摂取に関する勉強会に関する勉強会（出前講座）	施設職員	4/20
二戸	高齢心不全患者の心臓リハビリテーションと自己管理指導	リハビリテーション専門職等	9/26
	リハビリテーションと栄養について	リハビリテーション専門職等	2/15
	シルバーリハビリ体操研修会	リハビリテーション専門職等	3/9

・ 保健所実施分（表 16）

保健所名	研修会名	対象者	開催日
中部	口腔ケア従事者研修会	高齢者施設、病院、居宅サービス事業所等に勤務している職員、市町担当者等	12/14
奥州	胆江地域医療・介護に係る食生活支援連携研修会	介護支援専門員、行政栄養士等	9/6
	医療・高齢者関係施設等管理栄養士・栄養士研修会	病院、高齢者施設、市町村等に勤務する管理栄養士・栄養士	1/11
一関	高齢者関係施設における口腔ケア推進事業	歯科医師、歯科衛生士、高齢者関係施設職員等	11/9
	健康長寿を目指した生活習慣について～食生活～	食生活改善推進員	①9/8 ②11/15
	医療・介護の栄養・食生活支援にかかる連携事業（①連携にかかるアンケート調査、②連携強化のための研修会）	医療機関及び高齢者関係施設	①6～7月 ②10/18
大船渡	認知症に関する研修会	介護保険施設等に従事する職員	10/13
釜石	高齢者の誤嚥性肺炎予防のための呼吸ケアと呼吸リハビリテーション	理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士等	11/27
宮古	介護予防ボランティアフォローアップ講座	管内市町村の介護予防ボランティア	①10/31 ②11/30
久慈	介護予防事業関係者情報交換会	久慈管内の介護予防関係者	①12/5 ②3/12
	認知症セミナー「久慈市認知症フレンドリー市民上映会」	地域住民	2/17
二戸	歯科保健医療介護従事者研修会	医療機関・高齢者施設、市町村等に勤務する管理者・責任者、介護職員、生活支援員、ケアマネジャー、ホームヘルパー等	10/19

<関係団体において実施している研修（令和5年度実績）>（表17）

団体名	研修会名	内容	人数
岩手県 理学 療法士会	地域ケア会議推進リーダー養成研修会	地域ケア会議で専門性を発揮できる人材育成を目的とした認定制度のための研修会	12人
	介護予防推進リーダー養成研修会	介護予防で専門性を発揮できる人材育成を目的とした認定制度のための研修会	13人
	シルバーリハビリ体操支援研修会	シルバーリハビリ体操指導者養成事業において、指導者の活動や養成事業の支援及び市町村との連携・協働に関わることのできる理学療法士育成のための研修会	12人
岩手県 作業 療法士会	介護予防事業支援に向けた人材育成研修会	通所C型サービスに関する講義、岩手県内での実践例の紹介	12人
	介護予防情報交換会	介護予防事業支援に関する情報交換会 岩手県内で実施されている通所C型事業の情報交換	12人
岩手県 言語 聴覚士会	失語症者向け意思疎通支援者養成研修	失語症のある方との意思疎通を支援するため、医療従事者・一般の方を問わず支援者を育成	8人

【評価・課題と今後の取組】

- リハビリテーション専門職数は過去5年間で大きな変化はないが、地域偏在があるほか、言語聴覚士は他職種と比較し少ない状況にある。
- 市町村単独ではリハビリテーション専門職の支援体制を構築できない場合が多く、広域支援センターの活用等による広域的な派遣調整の仕組みが重要であることから、市町村の介護予防事業を支援する人材確保に努める。
- 「自立支援型地域ケア会議に係るリハビリテーション専門職派遣調整ガイドライン」に基づき、令和5年度は5つの圏域の広域支援センターにおいて派遣調整が行われている。今後は様々な機会をとらえ、市町村に対するガイドラインの周知を図るとともに、円滑な活用に向け、市町村及び広域支援センター等から意見聴取を行っていく。
- リハビリテーション専門職の数が限られている現状において、知識・経験を有する地域リハビリテーション従事者の育成を図っていく必要があることから、引き続き全県域を対象とした研修や圏域ごとの研修を開催し、関係者の資質向上を図る。

### 第3 地域リハビリテーションの普及啓発の推進

地域共生社会の実現のため、県民や関係機関へ向けた地域リハビリテーションに関する普及啓発を推進します。

#### 【令和5年度までの実績】

##### ① 介護予防や地域リハビリテーションに関する県民向けの講習会等

(公財) いわてリハビリテーションセンターでは、一般県民や保健・福祉・介護・医療機関の関係者を対象としたリハビリテーションフォーラムを年に1回開催し、一般県民や保健・福祉・介護・医療機関の関係者を対象とした地域リハビリテーションの普及啓発を行っている。

＜いわてリハビリテーションフォーラムの参加者数＞ (表 18)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	366人	258人	(中止)	226人	127人

##### ② 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、地域において認知症の人やその家族を自分のできる範囲で支援する「認知症サポーター」の養成を支援している。

＜認知症サポーター養成数＞ (表 19)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数 (累計)	174,560人	183,873人	192,150人	202,360人	214,627人

出典：認知症キャラバンサポーターホームページ

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 5ページに掲載。

#### 【評価・課題と今後の取組】

- リハビリテーションは“リハビリテーション専門職によって行われる機能訓練”という側面だけではなく、個人の生きがいや自己実現、社会参加にも関わるものであるという側面についても県民の理解を促進する必要があることから、関係機関と連携し、地域リハビリテーションの普及啓発に努めていく。
- 認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を支援できる人を身近に増やしていく必要があることから、引き続き、認知症サポーター養成講座を開催し、県民の認知症に関する正しい知識と理解促進のための普及啓発を図る。

## 第4 県支援センター及び広域支援センターの機能充実

本県の地域リハビリテーション推進の中核施設である、岩手県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センターによる効果的な地域支援を行います。

### 【令和5年度までの実績】

#### ① 市町村の介護予防事業等への専門職の派遣状況

地域リハビリテーション広域支援センターでは、圏域の協力施設等やリハビリテーション関係団体（支部）等との連携により、リハビリテーション専門職のネットワークを構築し、市町村等からの要請に応じて派遣調整を実施している。

#### ＜（再掲）ガイドラインに基づき市町村から依頼があった広域支援センター＞

本県で策定した「自立支援型地域ケア会議に係るリハビリテーション専門職派遣調整ガイドライン」に基づき、広域支援センターにおいて市町村への自立支援型地域ケア会議への専門職派遣調整を実施している。（表12）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
盛岡北部		○			○	
盛岡南部	○	○	○	○		
岩手中部		○	○	○	○	○
胆江	○	○	○	○	○	○
両磐						
気仙						
釜石	○	○	○	○	○	○
宮古	○	○	○	○	○	○
久慈						
二戸						

#### ＜広域支援センターにおける専門職の派遣調整・市町村支援の状況（令和5年度実績）＞

広域支援センターにおいては、自立支援型地域ケア会議に加え、通いの場や市町村の介護予防事業へのリハビリテーション専門職派遣・調整を行っている。（表20）

圏域	取組内容
盛岡北部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議等への派遣 5回（八幡平市：1回、滝沢市：4回）</li> <li>○介護予防教室等の支援 16回（八幡平市）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 3回</li> <li>○シルバーリハビリ体操指導者養成事業等への派遣（八幡平市、葛巻町、岩手町）</li> <li>○盛岡北部圏域リハ資源調査（県央保健所共催事業）</li> <li>○盛岡北部地域リハネットワーク会議の開催 2回</li> <li>○リハ職派遣ガイドラインの作成</li> <li>○認知症初期集中支援チーム</li> </ul>

圏域	取組内容
盛岡南部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 8回（盛岡市：3回、矢巾町：3回、紫波郡：2回）</li> <li>○通いの場の支援 23回（盛岡市：4回、矢巾町：23回）</li> <li>○介護予防教室等の支援 6回（盛岡市：1回、矢巾町：5回）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 11回</li> <li>○シルバーリハビリ体操指導者養成事業等への派遣（盛岡市、紫波町、矢巾町）</li> </ul>
岩手中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 32回（花巻市：8回、北上市：24回）</li> <li>○介護予防教室等の支援 129回（花巻市：118回、北上市：11回）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 2回</li> <li>○訪問事業への派遣 46回（花巻市）</li> <li>○短期集中予防事業への派遣 102回（北上市）</li> </ul>
胆江	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 5回（奥州市：5回）</li> <li>○通いの場の支援 2回</li> <li>○介護予防教室等の支援 11回</li> </ul>
両磐	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ケアマネジメント検証委員会への派遣 3回</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 4回</li> <li>○介護予防教室等の支援 6回</li> <li>○一関発達支援相談事業への派遣 11回</li> </ul>
気仙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護予防教室等の支援 4回</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 4回</li> <li>○気仙地域リハビリ専門職連携会議の開催 1回</li> <li>○相談支援 2回（大船渡市、住田町）</li> </ul>
釜石	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 9回（釜石市：6回、大槌町：3回）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 8回</li> <li>○いきいき100歳体操事業への派遣 1回（釜石市）</li> </ul>
宮古	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 11回（宮古市）</li> <li>○介護予防教室等の支援 22回（宮古市：8回、山田町：14回）</li> <li>○シルバーリハビリ体操指導者養成事業等への派遣（宮古市）</li> <li>○介護予防ボランティアフォローアップ研修会への派遣 2回</li> </ul>
久慈	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護予防教室の支援 11回（久慈市10回、野田村1回）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 25回</li> <li>○シルバーリハビリ体操指導者養成事業等への派遣 2回</li> <li>○いきいき100歳体操事業への派遣 1回</li> </ul>
二戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議への派遣 20回（二戸市：5回、一戸町：10回、軽米町：5回）</li> <li>○介護予防・地域リハビリテーション事業関係会議等への参加 5回</li> <li>○市民公開講座の開催 1回</li> <li>○シルバーリハビリ体操指導者養成事業等への派遣 1回</li> </ul>

## ② 県支援センターにおける広域支援センターの支援状況

岩手県リハビリテーション支援センターでは、各圏域における地域リハビリテーション支援体制構築のため、各圏域で開催される連絡協議会に出席し、専門的助言や情報提供を行っている。

また、広域支援センター及び保健所担当者等の情報交換を目的とした、広域支援センター連絡協議会の開催のほか、広域支援センターからの相談に応じて協働事業等を実施することにより、広域支援センターを支援している。

＜県支援センターによる広域支援センターの支援回数＞（表 21）

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
連絡協議会での助言・研修 会への講師派遣による支援	14回	4回	5回	9回	8回

### ・ 地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会（県支援センターが主催）

開催回数：2回（令和5年9月5日、令和6年3月5日）

内 容：地域リハビリテーション支援体制の充実に向けての意見交換・事業報告  
各広域支援センター連絡協議会の開催状況について

「岩手県地域リハビリテーション連携指針（改定版）」の評価指標について

### 【評価・課題と今後の取組】

- 市町村において、介護予防事業を支援するリハビリテーション専門職の確保が十分ではない現状がある。そのため、専門職団体（支部）及び協力施設等との連携のもと、広域支援センターによる市町村支援機能の強化を図り、広域的な支援体制を整備する。
- 圏域によって、資源量や地域リハビリテーション支援体制は様々であることから、岩手県リハビリテーション支援センターは、圏域ごとの実情に即した地域リハビリテーション支援体制の整備が推進されるよう、広域支援センター連絡協議会の開催や助言等を通じて、広域支援センターの支援を行う。

## 第5 通いの場・地域活動との連携充実

地域リハビリテーション支援体制の整備に当たり、地域住民が行う活動と連携し、地域住民も含めた支援体制づくりを行います。

### 【令和5年度までの実績】

#### ① 通いの場の箇所数、参加者数、参加率、主な活動

高齢者等が地域の公民館等を集い、体操やお茶会を住民主体で実施している「通いの場」創出や通いの場での効果的な介護予防の取組の実施を支援している。

#### <通いの場の箇所数、参加者数、参加率> (表 22)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
箇所数	1,743箇所	1,404箇所	1,503箇所	1,473箇所	1,744箇所
参加者数	25,053人	17,926人	19,036人	18,744人	21,231人
参加率	6.2%	4.4%	4.7%	4.6%	5.2%

#### <通いの場（週1回以上）の箇所数、参加者数、参加率> (表 23)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
箇所数	649箇所	586箇所	724箇所	755箇所	798箇所
参加者数	9,659人	7,606人	9,113人	9,490人	10,427人
参加率	2.4%	1.9%	2.2%	2.3%	2.6%

#### <通いの場での主な活動（令和5年度）> (表 24)

	体操 (運動)	会食	茶話会	認知症 予防	趣味 活動	農作業	生涯 学習	ボラン ティア	その他	計
箇所数 (箇所)	1,162	63	206	12	124	4	4	4	165	1,744
参加者数 (人)	15,043	822	2,161	146	1,228	57	38	38	1,698	21,231

出典：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）実施状況に関する調査」

※ 令和5年度については速報値。確定値は厚生労働省において令和7年3月頃公表予定。

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 6ページに掲載。

#### ② 認知症カフェを設置している市町村、認知症カフェ箇所数

認知症の人やその家族が、地域の人や専門職と相互に情報を共有しお互いを理解し合う、「認知症カフェ」の設置を支援し、認知症の人及び家族の支援の充実を図っている。(表 25)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症カフェを設置している市町村数	29市町村	30市町村	31市町村	32市町村	33市町村
認知症カフェ箇所数	113箇所	115箇所	133箇所	139箇所	148箇所

出典：厚生労働省「認知症総合支援事業等実施状況調査」

※ 令和5年度については速報値。確定値は厚生労働省において令和7年3月頃公表予定。

※ 圏域別の状況は【資料No.2-2】 5ページに掲載。

### ③ 高齢者のボランティアの活動比率

高齢者の地域活動や社会貢献活動への参加を促進し、活動の活発化を促すため、活動事例の紹介や各種情報提供などの支援を行っている。特に、岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業を通して、ボランティアで体操指導を行うシルバーリハビリ体操指導者の養成により、体操指導者が市町村や地域の専門職と連携して住民主体の通いの場で活動することを支援している。

＜高齢者のボランティア活動比率＞（表 26）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
26.4%	28.1%	25.3%	23.6%	27.9%

出典：岩手県「県民意識調査 県民生活基礎調査」

#### 【評価・課題と今後の取組】

- 介護予防の取組については、心身機能の回復や機能回復訓練など的高齢者本人へのアプローチだけではなく、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけるとともに、地域づくりなど的高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めた取組が必要である。通いの場の立上げ・継続・充実化を図るため、引き続き市町村職員を対象とした介護予防に係る情報交換会を開催し、市町村の取組を支援する。
- 認知症の人が容態の変化に応じ、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活を継続できるよう、認知症の人とともに生きる地域づくりが必要であることから、市町村や関係機関と連携して、チームオレンジの立ち上げや認知症カフェの設置を支援するなど、お互いの理解を深める交流の場づくりや認知症ケアの向上を図るための取組を促進する。
- 引き続き、高齢者の生きがいつくりや健康づくり活動に加え、高齢者がこれまで培ってきた豊かな経験や知識・技能を生かしたボランティア活動や地域活動等への参加を支援する必要がある。  
県ではシルバーリハビリ体操指導者養成講習会の開催により、市町村が取り組む介護予防の担い手確保を支援するとともに、シルバーリハビリ体操指導者交流会の開催により、指導者の活動を支援する。

## 基本目標に係る評価の視点について（アウトカム評価）

### 基本目標

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点に立って、リハビリテーションが適切に提供される社会を目指す。

基本目標の達成に向け、保健・医療・福祉等の関係機関が連携し、基本方針に沿って総合的な取組を行う。

〔基本目標に関連した指標について（いわて幸福関連指標）〕

#### ① 健康寿命（平均自立期間）（表 27）

区分	現状値	
	令和3年度	令和4年度
（男性）	80.03年 <sup>(R2)</sup>	一年 <sup>(R3)</sup>
（女性）	84.59年 <sup>(R2)</sup>	一年 <sup>(R3)</sup>

区分	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
（男性）	80.42年 <sup>(R4)</sup>	79.64年 <sup>(R4)</sup>	80.61年 <sup>(R5)</sup>	80.80年 <sup>(R6)</sup>	81.00年 <sup>(R7)</sup>
（女性）	84.92年 <sup>(R4)</sup>	84.25年 <sup>(R4)</sup>	85.08年 <sup>(R5)</sup>	85.24年 <sup>(R6)</sup>	85.41年 <sup>(R7)</sup>

#### ② 75歳以上85歳未満高齢者の要介護認定率（表 28）

現状値		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
令和3年度	令和4年度	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
12.3%	11.7%	11.9%	11.5%	11.7%	11.5%	11.3%

#### ③ 障がい者の雇用率（障がい者の民間企業における雇用状況）（表 29）

現状値		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
令和3年度	令和4年度	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
2.37%	2.38%	2.40%	2.42%	2.50%	2.50%	2.70%